

V シカ等野生動物の保護管理

<主要施策の取組状況>

1 自然植生回復地域（ブナ林等）での密度低減と定着の解消

- ・自然植生回復を目的として委託およびワイルドライフレンジャーによるシカの管理捕獲を実施し、生息環境整備の基盤づくりのための管理捕獲と合わせて、県実施管理捕獲全体で381頭を捕獲した。生息密度調査等のモニタリングを実施した。
- ・稜線部等の下層植生衰退地において、土壌保全対策等として植生保護柵を4.3ha設置した（Iブナ林の再生再掲）。

2 生息環境管理地域（人工林・二次林等）での森林整備と連携したシカ保護管理の実施

- ・水源林整備地でシカ管理捕獲を実施（自然植生回復目的の管理捕獲と合わせて、県実施分実績381頭）。また、GPS首輪装着個体の行動追跡や植生回復等モニタリングを実施した。
- ・水源林整備地6箇所にて試験地を設定して、植生やシカ利用状況（自動撮影カメラによる調査）を調査した。

3 被害防除対策地域（山ろく・集落等）でのシカの計画的捕獲と被害対策

- ・市町村等が行う鳥獣被害対策（捕獲、防護柵設置等）へ財政的な支援を行うとともに、各地域（湘南、県央、県西）県政総合センターに鳥獣被害防除対策専門員を配置し技術的な支援を行った。さらに、県の環境部門と農政部門からなる鳥獣被害対策支援チームを立ち上げ、モデル的な取組を実施した。
- ・市町村等が実施した被害軽減目的の管理捕獲によりシカ820頭を捕獲し、狩猟によりシカ922頭を捕獲した（暫定値）。

4 野生動物の保護管理

- ・ワイルドライフレンジャーを3名配置し、稜線部等でシカ捕獲を実施した（74頭。県実施管理捕獲数の内数）。
- ・ニホンジカ保護管理検討委員会において、モニタリング、管理手法について、科学的な視点で検討を行った。
- ・関係部局により、野生鳥獣による農作物被害対策検討プロジェクトを立ち上げ、対策について検討した。

○ニホンジカ捕獲実施状況（平成24年度）暫定値

単位：頭，（ ）内はメスの内数

自然植生回復目的 管理捕獲（森林整備地込み）	農林業被害軽減目的 管理捕獲	狩猟	合計
381(215)	820(454)	922(430)	2,123(1,099)

○ニホンジカモニタリング実施状況（平成24年度）

生息状況	生息環境
<ul style="list-style-type: none"> ・区画法による生息密度調査 ・糞粒法による生息動向調査 ・GPS首輪を用いた行動域調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・糞塊法による生息動向調査 ・捕獲効率の算出による調査 ・植生定点調査



稜線部で捕獲を実施するワイルドライフビジョナー



植生定点調査の様子（黍殻山）

○シカ等野生動物の保護管理に関する事業実施場所（位置情報のある事業のみ掲載）

